

広げよう子育て支援の輪

子育て支援の県民運動「ココロねっこ運動」の啓発パレードが10月29日、市役所からきらきら21までの区間で行われました。

同運動は、全国で相次いだ少年事件などを背景に家庭でのあいさつ励行や父親の育児参加推進のほか、地域や家庭での事例報告、各種イベントなどに取り組んでいます。

パレードにはPTA連合会や老人クラブ、人権擁護委員など35団体約200人が参加。「ココロねっこ運動」の横断幕を掲げ、松浦高校吹奏楽部を先頭に、チラシやティッシュを配りながら地域や家庭での子育て支援について啓発を行いました。



子育てについて学ぶ

子育て出前講座が10月26日、今福保育所で行われました。

子育ての大切さをわかってもらいたいと、今福地区育成会（白石孝浩会長）と今福保育所（椛島洋子所長）が県の出前講座（ゆっこ）を利用し開催したものです。

大村共立病院の宮田雄吾副院長が「子育てについて考えること」と題して、子育てがうまくいかないときのヒントなどを講演し「楽しく無理をしない子育てをしていきましょう」とまとめました。

この日は、講演の前後にエレクトーン演奏も行われ、参加した市内の保護者など約70人は、なごやかな雰囲気の中でのわかりやすい子育ての話に熱心に聞き入っていました。



みんなで火の用心

秋季全国火災予防運動初日の11月9日、市と市消防団、松浦地区消防組合消防本部が防火パレードを実施し、市民に火災予防を呼びかけました。

この日は、ポンプ車や広報車などが市内の保育所、幼稚園を巡回しながら、園児や沿道の市民に火災予防をアピールしました。

志佐町の松浦幼稚園（森宏明園長）では、園児が消防団員などを前に「火の用心」などと書かれた法被姿で「火の用心、マッチ一本火事の元。わたしたちは火遊びを絶対しません」と大きな声で約束しました。

まちの話題



県総合防災訓練を実施

長崎県石油コンビナート等総合防災訓練が10月31日、九州液化瓦斯福島基地と周辺海上で実施されました。

福島地区が、石油コンビナート等災害防止法に基づく国の特別防災区域に指定されたことにより、市や県、防災関係機関の防災意識の高揚を図ることを目的に実施されたものです。

訓練には、市や県、自衛隊、消防など12機関から約200人が参加。県北部で震度6弱の地震があり、ガスが流出し火災が発生したとの想定で、関係機関への指示、伝達や周辺住民への広報のほか、高さ約27メートルのタンク屋上に取り残された負傷者救出訓練などを実施しました。



地震の怖さを体験

地震体験車を使った地震体験訓練が10月23日から27日までの5日間、松浦地区消防署管内にある9つの小学校で開催されました。

子どもたちに地震の怖さと震災時の心構えを知ってもらおうと松浦地区消防組合消防本部が開いたものです。

24日の今福小学校では、避難訓練にあわせて実施。消防署員から地震発生時の注意点などを聞いた後、5・6年生が地震体験車に乗り、地震の揺れを体験しました。

地震を体験した6年生の真田貴行君は「今の揺れが本当にあったら、すばやく机の下にかくれるのが大切だと思いました」と話してくれました。



金子知事が松浦市を視察

金子原二郎知事が11月10日、市内の農業や水産業、商工業を視察しました。

合併後の新市町の実情を把握し、意見交換等を通して生産者の声を聞き、今後の県の施策立案や遂行に活かすために行ったものです。

この日は、アールスメロン栽培場や新松浦漁協トラフグ養殖場、福島町和牛婦人部など10か所を視察。青年農業者会のセルリー生産現場を訪れた知事は「若い人たちの頑張りで農業の拡大、振興を図ってほしいと思います。できるだけ支援は行いますが、知恵と工夫と汗を出して成果を上げてください」と激励しました。



初期消火を迅速に

第12回屋内消火栓操法大会（松浦地区消防組合消防本部主催）が10月30日、文化会館屋外集会所で開催されました。

屋内消火栓設備の操作技術の向上と維持管理の徹底、自衛消防隊の強化を図るために開催されたものです。

今大会には、同消防署管内の8事業所から、3人1組で11チームが参加。38分先に設けられた火災現場の消火作業の所要時間を競いました。

上位の結果は次のとおりです。

【男子】

- ①北松北部クリーンセンターC
- ②潜龍徳田病院
- ③北松北部クリーンセンターB

【女子】

- ①松浦市役所
- ②介護老人施設ひらどせと
- ③青洲会病院



ブロッコリーの苗植え体験

大崎小学校の1、2年生が10月23日、ブロッコリーの苗植え体験を行いました。

同校では生活科の学習の一環として、校内の畑で季節ごとの野菜を栽培しています。

この日は、松浦青年農業者会（守山清和会長）からブロッコリーの苗約100本をもらい、同会メンバーの指導を受けながらスコップで一本ずつ丁寧に苗を植えていきました。苗植え後、1年生の松本康成くんが「きちんとお世話を頑張ります」とお礼を述べました。

来年2月の収穫まで、児童が雑草取りや水やりの世話をします。